

法定12カ月点検

12カ月点検は法律で実施が義務付けられています。
お車のコンディションを保つために、年に1度の
「12カ月点検」を忘れずにお受けください。

室内点検

- ブレーキペダル
- 駐車ブレーキ・機構
- クラッチペダル

足回り点検

- マスターシリンダー
- ホイールシリンダー
- ブレーキドラム・シュー
- ブレーキディスク・パッド
キャリパー
- タイヤ
- クリップボルト

エンジンルーム点検

- ステアリング装置
- 点火装置
- バッテリー等
- オルタネータ・ベルト
- エアクリナー
- 冷却装置
- 排気ガスの状態



下回り点検

- エンジンオイル漏れ
- ドライブシャフト
- エグゾーストパイプマフラー
- プロペラシャフト
- トランスミッション
- ブレーキ装置
- トランスファ

タイヤ点検

**タイヤの摩耗・ひび割れはスリップや破裂のもとです！
無料で点検しますのでお気軽にご相談ください。
当社スタッフがしっかりチェックいたします。**

- タイヤの摩耗・偏摩耗・ひび割れ・傷を無料にて点検いたします。
- スリップサインが出ている状態（1.6ミリ以下）では雨の日滑りやすく危険です。車検にも通りません！
- 溝が浅いと雨の日の制動距離が長くなり、ハンドルやブレーキが効かなくなるハイドロプレーニング現象の原因にもなります。
- 製造年式の確認も可能。特に年式の古いタイヤは残り溝があってもひび割れ・亀裂にご注意ください。
- 交換が必要な場合は、当社スタッフがお客様の車・使い方に最適なタイヤをご提案させていただきます。
- 作業時間 約10分～



エンジンオイル点検

エンジンオイルの過不足はエンジンの寿命を縮めます。
無料でオイル量や劣化具合をチェックしますので
お気軽にご相談ください。

- エンジンオイル量の過不足を点検いたします。
- オイルは少なくとも多くてもエンジンに不具合が生じます。多すぎるとブローバイガスが増大、抵抗が増えます。少ないとエンジンにダメージを与えます。
- 定期的なオイル交換を怠るとピストンリングやバルブシールが劣化し、燃焼室へオイルが侵入する事があります。
- エンジンオイルは半年もしくは5,000kmごとの交換をオススメします。エレメントはオイル交換2回に1回の交換です。
- ターボ車やディーゼル車はエンジン内部の環境が厳しくオイルの劣化が早いので、早めの交換をオススメします。
- 作業時間 約15分～



バッテリー点検

電力消費量の多い夏場は特にご注意！
バッテリーが上がると車は動きません。
無料点検いたしますのでお気軽にご相談を。

- バッテリーチェッカーを使ってバッテリーの状態を診断いたします。
- エアコンを多用する夏場は電力消費量が多いためバッテリーへの負担がかかり劣化が進みやすくなります。
- 乗り方にもよりますが、バッテリーの交換は2年から3年が交換の目安になります。購入から2年以上経過している場合は注意が必要です。
- エンジンをかける際にセルモーターの勢いが悪い等の症状が出始めたらご注意ください。
- 作業時間 約15分～



ワイパー点検

雨の日の視界不良は事故のもと！
特に夜間は対向車のライトが乱反射し視界を妨げます。早めの交換をオススメします。

- ワイパーゴムの劣化（ゴム劣化・変形・ちぎれ等）とブレード本体の劣化を点検します。
- ワイパーは半年～1年に1回の交換をオススメします。
- ブレード本体が劣化しているとワイパーゴムへ力が均等に伝わらず拭き取りムラが発生します。
- ワイパーゴムは紫外線や熱の影響を受け使用開始から半年程度で劣化が始まります。
- 視界不良は運転のストレスや信号、標識、歩行者の見落としから重大な事故につながる場合があります。早めの交換でクリアな視界を維持しましょう。
- 作業時間 約10分～



ライト回り点検

ライト回りの点検、無料で承ります。
バルブ切れは思わぬ事故を誘発します。
特にリヤは切れていても気づかない事があり危険です。

- ヘッドライト・スモールランプ・ブレーキランプ・ウinkerの点検をいたします。
- 特にブレーキランプは切れていても自分では気づきにくいので注意が必要です。
- ランプ・バルブが切れていると視界不良はもちろん、周囲に自車の存在をアピールできないため危険です。
- ヘッドライトが切れた場合、より省電力で寿命の長いLEDヘッドライトへの交換もオススメしております。お気軽にご相談ください。（車種によりLEDへの交換不可の場合がございます）
- 作業時間 約10分～



エアフィルター交換

エアフィルターが汚れたままだと、エンジンへ十分な空気が供給されず、出力低下や燃費の悪化を招きます。
定期的な交換が必要な部品です。

- 汚れたエアフィルターを使い続けると燃費の悪化、エンジンのパワーダウンを招きます。
- 交換時期は車の使い方大きく変わります。土埃が舞いやすい場所を普段から走る場合は早めの交換が必要です。
- 作業時間 約10分～



バッテリー交換

バッテリー上がりにご注意ください。特に夏場はエアコンを多用するためバッテリーに負担がかかります。古いバッテリーはトラブルの元です。

- エンジンをかける際のセルモーターの勢いが弱くなってきたら注意が必要です。
- 最近の車は特に電装品が多く、バッテリーに負担をかけます。不安な方は当店でバッテリーの状態を確認しますので必要に応じて交換をオススメします。
- 作業時間 約15分～



クーラント交換

走行中のエンジンの冷却と寒冷地での凍結を防止します。
また、ラジエター内のサビの発生も防ぎます。
こちらも徐々に劣化しますので定期的な交換が必要です。

- 2年または4万キロでの交換がオススメです。
- スーパーLLCは寿命が長いので4年または8万キロでの交換がオススメです。
- ラジエターキャップの同時交換もオススメします。
- 作業時間 約15分～



スパークプラグ交換

エンジンに取り込まれたガソリンを適切に燃焼させるために定期的な点検・交換が必要な部品です。エンジンの回転が安定しないなどの症状が出始めたら注意です。

- プラグは約2万キロでの交換をオススメします。
- 白金プラグやイリジウムプラグは耐久性が高く、約10万キロでの交換になります。
- プラグが劣化すると、エンジン回転数が安定しない、燃費が悪くなる等の症状が出ます。
- 調子が悪いと感じたら、お気軽にご相談ください。
- 作業時間 約20分～



ワイパーブレード交換

ワイパーの劣化は視界不良の原因です。また、夏用のワイパーを冬に使うと寒さでワイパーゴムの柔軟性が失われ、正常に拭き取れなくなります。

- 夏用・冬用はシーズンに合わせて使い分ける必要があります。
- ワイパー交換の際はゴムの状態をチェックし、必要に応じて新品交換をご提案いたします。
- ゴムのみの交換も可能ですが一部エアロワイパー等はブレードごとの交換になる商品もございます。
- 1年ごとの新品交換をおススメしております。
- 作業時間 約10分～



ワイパーゴム交換

拭き取りの悪くなったワイパーを使い続けるのは危険です。交換が必要になりますが、ワイパーのゴムのみの交換で費用を抑えることができます。

- エアロワイパー等ゴムのみの交換ができないタイプもございます。その際はブレードごと交換になります。
- ブレード自体の劣化により、ゴムのみ交換しても拭き取り性能が回復しない場合があります。
- 1年ごとの新品交換をオススメしております。
- 作業時間 約10分～



ブレーキパッド交換

タイヤとともに回転するディスクローターを摩擦によって止める役割を果たします。ブレーキを踏んだ際にキーキー音が鳴り始めたら交換時期です。

- キーキー音が鳴りだしたら交換時期です。また、キーキー音以外の音が鳴る場合は別の不具合が発生している場合がありますのでお早めにご相談ください。
- 音以外にもブレーキフルードのリザーバータンクの残量を見ても確認できます。MIN印近くまで液量が下がっている場合はパッドが摩耗して交換時期になっている場合があります。
- 1年ごとの新品交換をオススメしております。
- 作業時間 約30分～



ブレーキローター交換

ブレーキを踏んだ際に異音や振動がする場合はブレーキローターにトラブルが発生している場合があります。車を減速・停止させる重要部品ですので早めのご相談を。

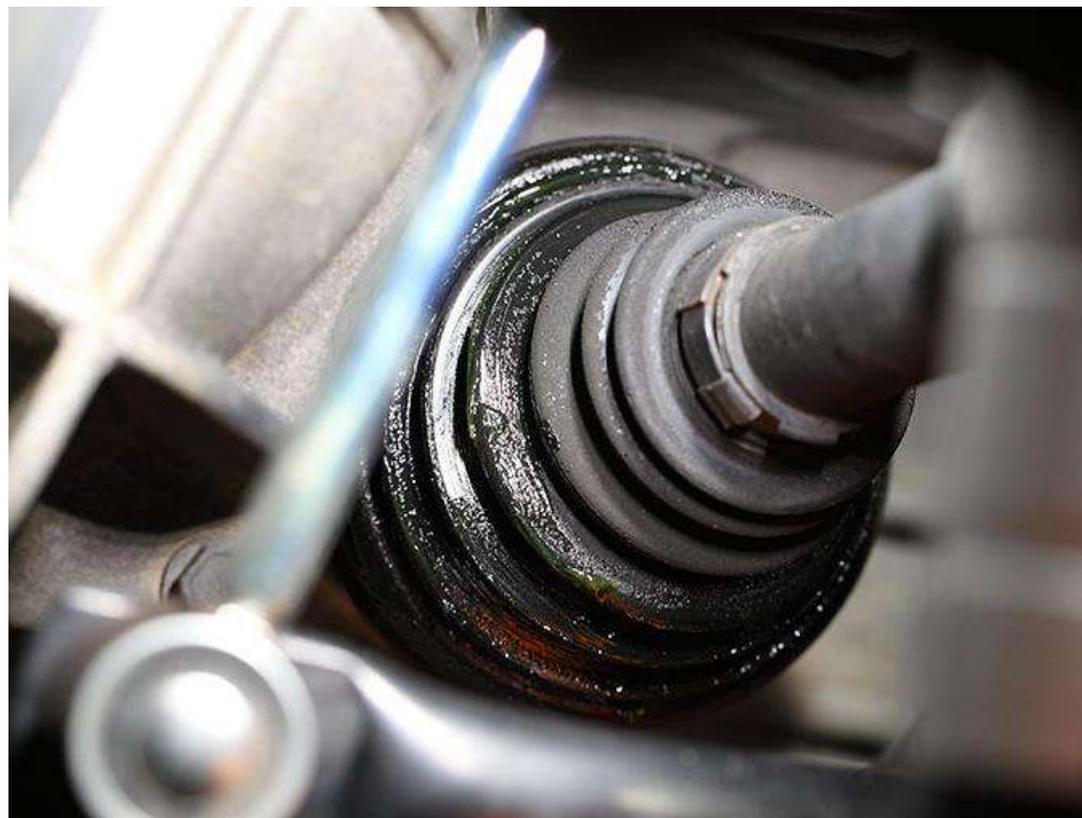
- ブレーキを踏んだ際異音や振動を感じたら注意が必要です。ブレーキローターに変形・偏摩耗・歪みが発生している場合があります。
- ブレーキパッドとの同時交換が効果的です。
- 作業時間 約30分～



ドライブシャフトブーツ交換

エンジンの回転をタイヤに伝えるドライブシャフトを保護するパーツです。破れたまま乗り続けるとドライブシャフトの破損につながります。

- 消耗品ですので定期的な交換が必要な部品です。
- 気づきにくい部分ですが、破れたまま乗り続けるとドライブシャフトの破損につながります。
- ノーマルよりも車高を落としている車は特に注意が必要です。
- 作業時間 約30分～



クラッチ交換

エンジンの回転数に対して車速が上がらない状態になったら、クラッチが摩耗している可能性があります。走行不能になる前に対処が必要です。

- 構造上、劣化・摩耗していくパーツなので、いつかは交換が必要になります。
- 半クラッチを使い続けるような運転が多い方は注意が必要です。
- クラッチが滑っているように感じたら、お早めにご相談ください。
- 作業時間 お問い合わせください。



ベルト交換

ベルトはゴム製なので経年で劣化していきます。
切れてしまうと走行不能になってしまうので定期的な
チェック・交換が必要です。

- ハイブリッド車は部品のほとんどが電動ですが、ガソリン車はエンジンのクランクシャフトの回転から動力を受けているため、ベルトが切れると走行に支障をきたします。
- 目視でヒビが確認できる、走行中にキュルキュル音が出るなどの症状が出たらチェック・交換が必要です。

